



うえだ きせこ
植田 貴世子さん



起業や地域活動を通じて活躍した女性に贈られる内閣府の「女性のチャレンジ賞」に、

徳島県内から初めて選ばれた。「元気な阿波女を全国に発信したい」と思っていた矢先の受賞。大きな励みになりました」と喜びを語る。

一九八六年に保育と英語教育を目的とした「ステラ」を創業し、九七年には家事代行や介護などの

生活総合サービスを提供する「クラッシュ」を設立。女性の知識や経験を生かせる職場として、女性の社会参画を実現している。

「起業したのが男女雇用機会均等法が施行した年。まさにものづくりの男性型経済から生活価値重視の経済にシフトしていく時代を歩んだ」と振り返る。

二十年前、県内で企業内託児所を持ちかけても、「なぜ会社に託児所が必要なのか」と門前払いの連続だった。しかし今、女性の視

女性のチャレンジ賞を受賞した

点がビジネスとして成立する好機を迎えた。「高度成長期の日本を否定はしない。男性が働き、女性が家庭を支える役割分担によって経済は伸びた。その過去を踏まえた上で、心の豊かさを求める今の時代に女性の感性が必要なんです」と強調する。

同じ思いを抱く女性経営者に呼び掛け、九五年に「AWAおんなあきんど塾」を発足。育成セミナーなどを通じて、徳島で女性起業家が生まれやすい土壌を耕し続けている。

県外にも事業を展開し、東京と徳島を行き来しながらの多忙な生活。「だからこそ徳島の食材や自然の素晴らしさを感じる」と語り、徳島の地域資源をビジネスとして全国に売り出す計画だ。

モットーとする言葉は「心柔らかに、仕事しなやかに」。「二十世紀は『心の所得』の時代。これからも人々の暮らしの満足度のために少しでも役立ちたい」

徳島市南常三島町三。五十二歳。